

## 第 38 回九大法学部東京同窓会総会講演会懇親会メモ

令和元年 11 月 13 日（水）学士会館 320 号室に於いて今年の総会、講演会、懇親会が実施されました。当日の様様をドキュメントしました。

### 第 1 部総会 18：30～19：00



小林事務局長の司会の挨拶 & 総会議長代行の挨拶を行い、櫻井龍子会長からの挨拶を頂きました。ポイントは、先日の祝賀御列の儀で参道に並んだ国民の雅子様エールに涙されたことをまづ紹介され、次に同窓会の意義についてお話されました。

- ① 自分を認めてもらえるアピール出来る場所でありホットする場所（雅子妃の涙を引用されて）
- ② 少ない参加者を増やすべく事務局を叱咤する場所

### ③ 心許せる同じ記憶を持つ仲間同士で互いに認め合う場所

等引き合いに出されて今後の同窓会の隆盛に会員各位の協力を呼び掛けられました。

その後、事務局から令和元年度の活動報告&令和2年度の活動計画、役員体制、会計報告、審議事項2件の報告がありました。

次に大学から来賓出席されている村上裕章九州大学法学研究院長・法学府長・法学部長よりご報告を兼ねたご挨拶を頂きました。



第2部講演会：草野芳郎弁護士（前学習院大学教授、元裁判官）

19：00－19：30



講演目「和解は未来を創る」と題して、①和解は未来を創る意味、②和解に対する評価についての裁判官の意識の変化、③和解解決したいというモチベーションが大事（熱意と誠意）、④局面打開へ向けての個人的アドバイス（雑談する余裕、引き出しを多く持つ、常識格言比喻等で説得）、⑤インドネシア法整備支援 の 5 項目について自身の経験、知見を織り交ぜての大変役に立つ講演内容でした。

講演者の草野弁護士様は、時間の制約がありもっと具体的な事例を紹介したい様子でありましたが、その点は懇親会で興味のある会員にご説明していただくことにして終演しました。

### 第3部 懇親会 19：40～21：00

司会者を田中博子次長にバトンタッチして岡部正彦顧問による乾杯のご挨拶を頂き、懇親会の始まりです。



歓談食事の後、各来賓の紹介と挨拶をしていただきました。

今年は、羽田野法学部同窓会会長代理で五十君真理子教授に代表挨拶をして頂き、本田重寿法学部同窓会関西支部長、秦善秋経済学部同窓会東京支部長、吉元利行経済学部同窓会東京支部事務局長、同弥永邦夫理事、神吉農学部同窓会東京支部事務局長の紹介がありました。

続いて、古川貞二郎顧問著「鎮魂ハルの生涯」刊行祝いセレモニーを実施しました。司会者が、紹介して、古川貞二郎顧問よりショートスピーチを頂き、3冊持参された本を抽選で3名の方に贈呈されました。



その後で遠藤比較法ゼミと成原情報法ゼミからのビデオレターを上演して各自視聴していただきました。今回の新しい試みで来年も続けて予定するつもりです。

少し時間が空いた後、会員の中から鬼木誠衆議院議員と初参加の佐久間佳枝法務省大臣官房施設課長のお二人にショートスピーチを頂きました。

その後で、今回初参加の新入会員 3 名と若手会員 3 名から自己 PR で会場を盛り上げてくれました。(マイクを持つ令和元年新入会員：西崎さん)



懇親会も佳境に入り、今年は S44 卒の田崎康夫様の指揮による「松原に」を合唱。





最後に、S44 卒松原会の横手海一郎様による櫻井会長と法学部東京同窓会に向けてエール交換で締め括りました。



最後に、S37 卒の古川治次顧問の閉会の挨拶で締め括り、**来年令和2年11月18日（水）学士会館320号室**に参集することを約して散会となりました。

以上。